

第78回マチコミリサーチ 『お子さまの成長(学び)のふりかえりについて』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『お子さまの成長(学び)のふりかえりについて』のアンケートを実施いたしました。

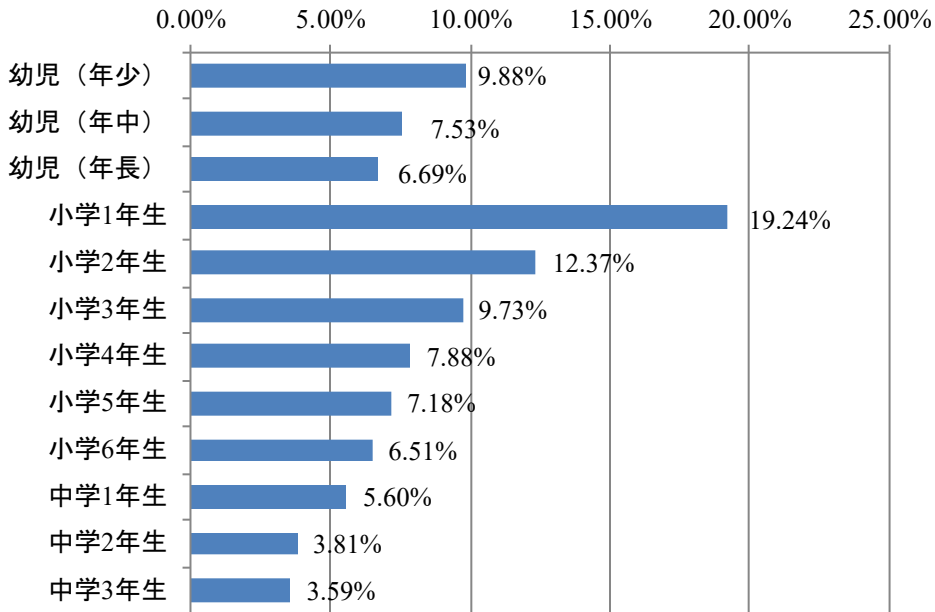
<調査概要>

調査期間	2019年6月27日(木)~7月2日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校・学童のマチコミメール会員
調査対象数	1,328,903名
有効回答数	22,727件

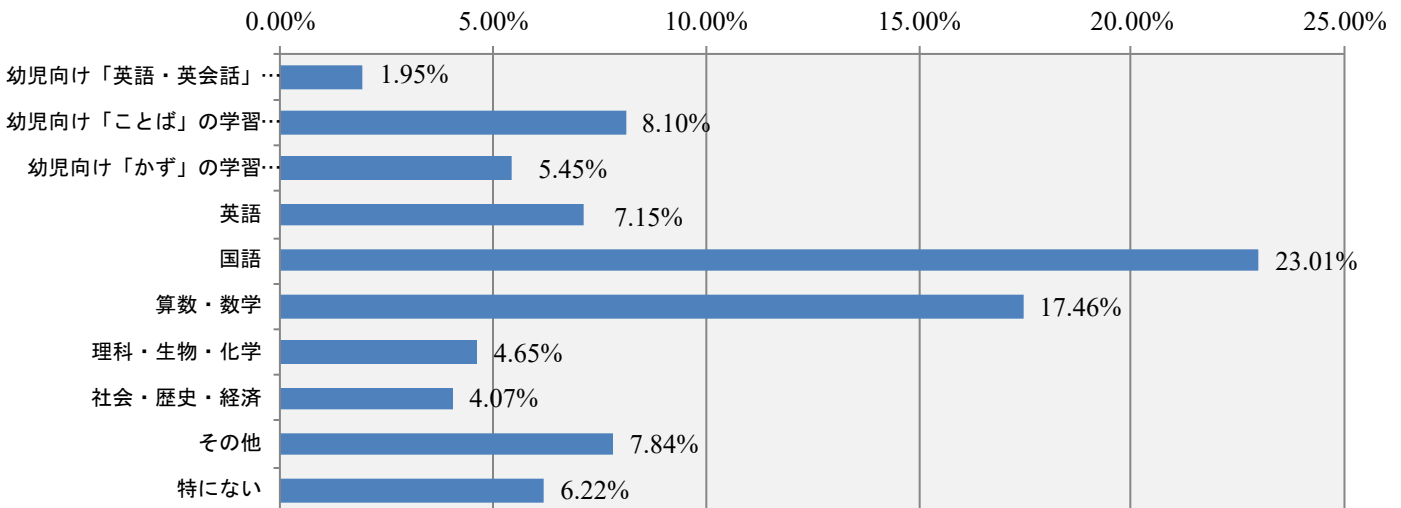
<質問項目>

1	お子さまの年齢は？※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。
2	お子さまが新学期に1番頑張ったと思われることは何ですか？(複数選択)
3	この夏、お子さまに取り組んで欲しいことは何ですか？(複数選択)
4	お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？
5	お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組みますか？
6	お子さまが現在、園や学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？
7	タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(複数選択)
8	英語教育が大きく変わり、小学校では3年生から必修化され、5年生からは通知表に成績がつくようになります。あなたはこのことをご存じでしたか？
9	お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答)

質問1: お子さまの年齢は? ※複数お子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。



質問2: お子さまが新学期に1番頑張ったと思われることは何ですか? (複数選択)

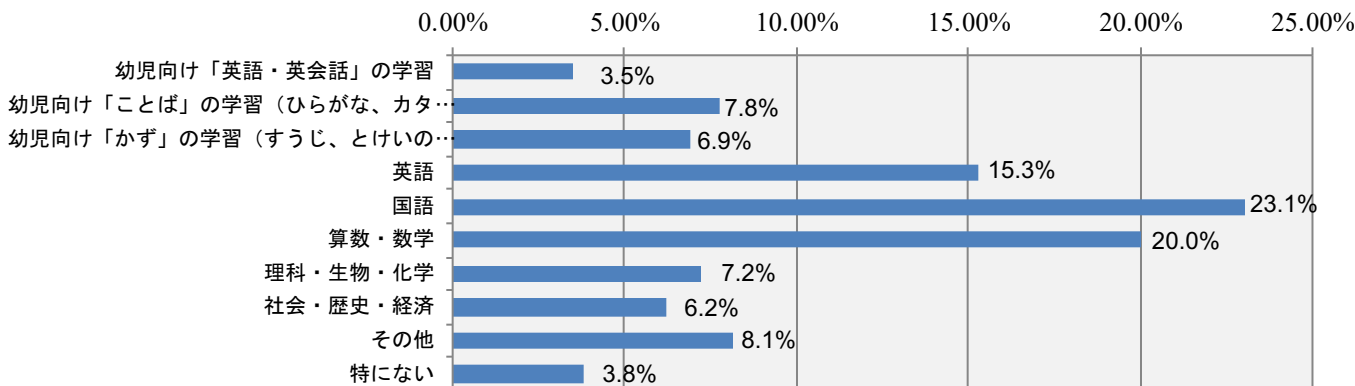


未就学児の場合、「幼児向け「ことば」の学習（ひらがな、カタカナなど）」に続き「幼児向け「かず」の学習（すうじ、とけいの理解など）」という結果になりました。

小学生以上になると、「国語」が23%「算数・数学」が17.5%「英語」が7.2%と、主要三科目に力を入れていることがわかります。

次項で夏休みに頑張りたい項目を見てみましょう。

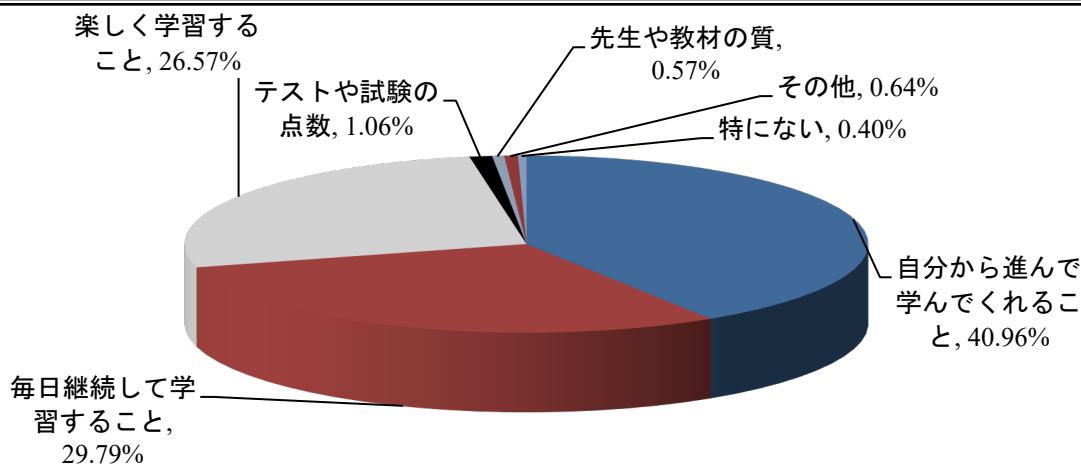
質問3:この夏、お子さまに取り組んで欲しいことは何ですか？(複数選択)



物事を理解するためには、まず言葉の理解が重要。そのためか、まずは国語やことばの学習を頑張って欲しい保護者の方が多いようです。また算数・数学は苦手科目として挙がることが多い科目。一度苦手意識を持ってしまうと大変なので、学習を重ねることなるべく余裕を持って欲しいと言う保護者様の気持ちが現れたものと思われます。「英語」も未就学児では少なめでしたが、小学生以上では3番目の回答を集めました。

受験などで重要になってくる主要三科目に回答が集中。多くの方が重要視されていることが分かります。夏休みに復習や予習を行い、新学期に備えたいところです。

質問4:お子さまの学習について、あなたが1番重要と思うことは何ですか？



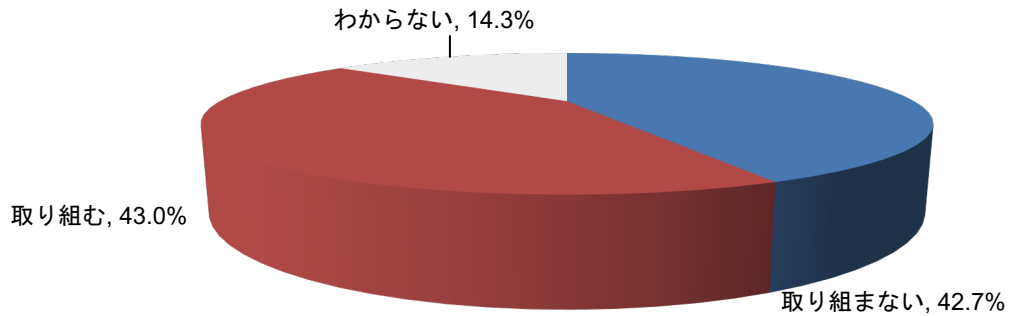
「毎日継続して学習すること」「自分から進んで学んでくれること」「楽しく学習すること」この3つが大多数を占める結果になりました。

特に未就学のお子さまの学習には、「自分から進んで学んでくれること」と「楽しく学習すること」が欠かせません。子どもは何事も好奇心や楽しさから力を伸ばしていると言えますので、興味を持って取り組むことができるような教材を探す必要があるかもしれません。

また『継続は力なり』という言葉がありますが、毎日コツコツと積み重ねることが大切な学習においては特に当てはまります。少しずつでも継続して能力を身に着けることは、学習面以外でもお子さまの精神的な成長に繋がります。

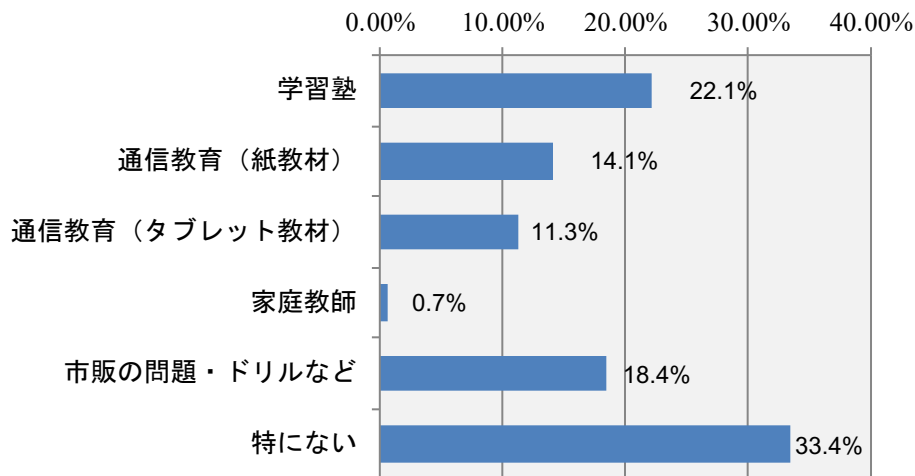
毎日親が声をかけて渋々取り組む…というよりも、楽しいと感じながら学習し、やがて習慣となり、毎日主体的に取り組むようになるという好循環がごこの家庭も理想なのではないでしょうか。

質問5: お子さまは1人の時でも自分から積極的に学習に取り組めますか？



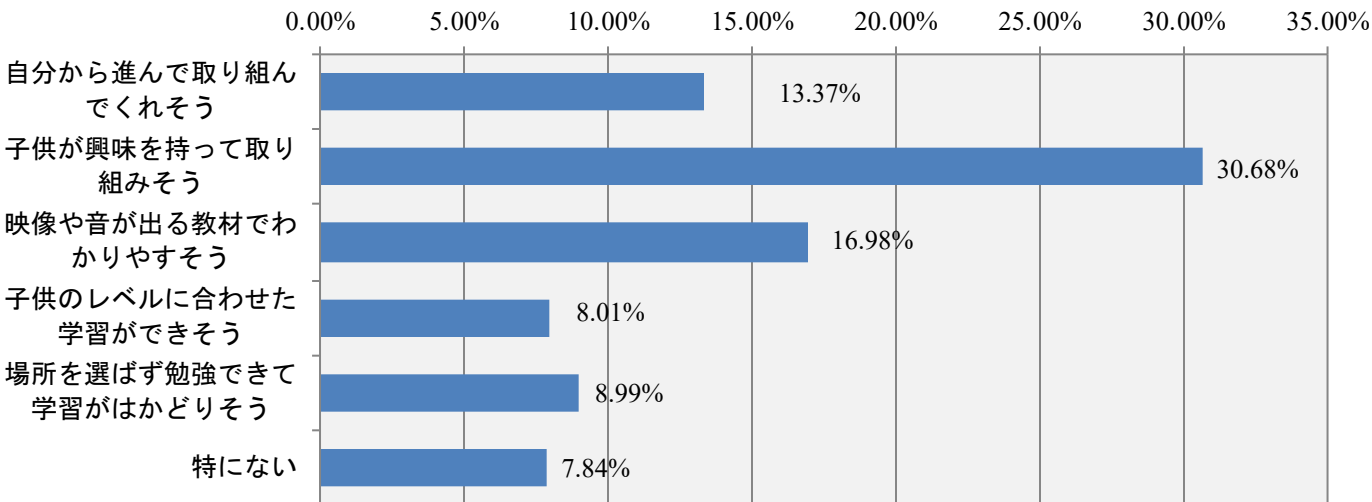
「取り組む」が半数を超えている結果に、「取り組まない」と回答された方はちょっと驚いたのではないのでしょうか。気分や状況によって変わってくると思いますが、平均的に見て取り組んでいると感じる方が多くいらっしゃるようです。

質問6: お子さまが現在、園や学校以外で取り組まれている学習手段はありますか？



学習塾が1位という結果となりました。塾は周りから刺激を受けることもでき、学習に集中できる環境といえますよね。一方で通信教育を取り入れている方は、紙教材とタブレットを併せると25.4%と、学習塾より多くなります。通信教材は時間や場所を制限されることがなく自分のペースで進められますので、年齢問わず人気があるようです。

質問7: タブレット端末を利用した学習についてのイメージを教えてください(いくつでも)

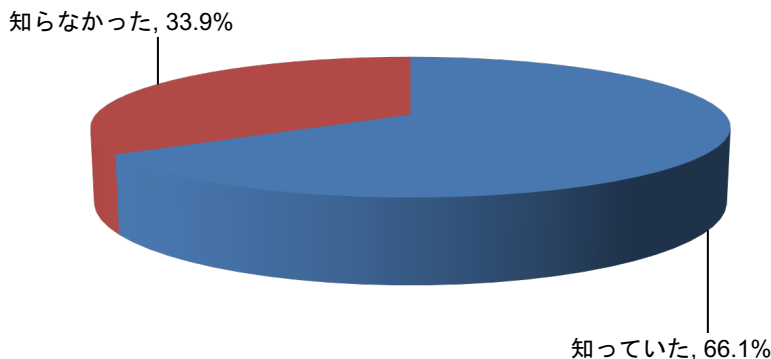


「子どもが興味を持って取り組みそう」が1位となりました。子どもたちもデジタル機器に馴染みがある時代、使い慣れたタッチパネルで楽しく学習することが期待されています。

次に「映像や音が出る教材でわかりやすそう」が多い結果に。2020年から小学校ではプログラミング教育が必修となりますが、タブレットでわかりやすく基礎知識を身につけることができればありがたいですね。更に英語の学習では、ネイティブ英語の再生機能があります。ネイティブの先生に直接教わることができなくても、タブレット上で繰り返し聞くことでリスニング力向上が期待できそうです。未就学のお子さまも、聞き取った英語を真似しながら楽しく学習できるのではないのでしょうか。

質問8: 英語教育が大きく変わり、小学校では3年生から必修化され、

5年生からは通知表に成績がつくようになります。あなたはこのことをご存じでしたか？



7割近い保護者の方が「知っていた」と回答されました。「知らなかった」という方は約3割という結果でした。英語は2011年度に「小学5年生から必修」となり、小学校での英語教育はすっかり浸透しています。この流れはさらに低学年化されることとなります。「小学3年生からの必修化」は2020年度に完全実施されます。

質問9: お子さまの家庭での学習で悩みがあれば教えてください(自由回答)

多かったのは、以下3項目でした。

- ・集中力が持続しない
- ・1人だと勉強できない
- ・時間がない

回答数 : 9,285件

その他にも、思わず「あるある」と頷いてしまうお悩みが多数挙がりましたので、いくつかご紹介します。

- ・だらだら勉強で、身に付いているのか分からない。
- ・つつい遊びに夢中になり、学習時間が後回しになる。
- ・できないとすぐ諦めてやめてしまう
- ・テスト前しか勉強しない
- ・言わないとやらない
- ・テレビ、YouTubeを見ながら宿題をすること。何度注意してもだめです。
- ・ムラがある
- ・わからない問題にあたると、自分で少し考えずに、すぐ聞いてくる。考えるよう言うと怒り出す。
- ・学校の勉強についていけない
- ・学習に興味ありません。
- ・良い教材がなかなか見つからない。
- ・周りに競ったり比べたりする相手がいないのでのんびりしている。

まとめ

アンケート結果から多くの保護者様が、お子さまが自主的に、楽しく、継続して学習することが重要と考えられていることが分かりました。しかしながら、なかなか理想通りには行かないのが現実。

自主的に学習に取り組まない理由として「勉強＝つまらない」というイメージがあるから、ということも少なくありません。子どもに何かを促す際、イメージ付けはとても重要。今学期のふりかえりから新しい学習方法を提案して、つまらないイメージを一掃してみるのも一つの手かもしれません。

また楽しい遊びや経験から得られる学びが多くありますので、その時のお子さまの興味関心が何に向いているかによって、都度学習方法の見直しも必要になってきます。

タブレット端末を利用した学習についての項目では、「子どもが興味を持って取り組みそう」と考える人が多く見られました。年齢が上がるにつれ自分の「苦手」に気づき、学ぶことに消極的になっていたら、今までとは異なるアプローチで興味関心を引き出すチャンスかもしれません。

例えば、タブレットならではの「解き直し」機能では、苦手な問題を何度でも解き直しでき、自動的に苦手な範囲を多く出題してくれます。反復練習で効率的に苦手分野を克服することでお子さまの自信にもなり、学習に対するイメージを変えられるかもしれません。

より有意義な夏休みを過ごせるよう、お子さまにあった学習方法を新たに探してみてはいかがでしょうか。